

この夏の作品達～千葉森林管理事務所の木工教室

千葉森林管理事務所では、様々な催しの中で木工教室を行っています。木に触れて工作する中で、木に親しみ、その良さを感じてもらい、工作体験を一つのきっかけとして、国有林の仕事や森林・植物について興味を持ってもらうこと等を目的としています。また、のこぎりやナイフ等、普段あまり使わない道具を使うことや、自分の自由な発想で工作することは、子供達にとって有意義な経験になるのではと考えています。

8月は子供達の夏休みに合わせたイベントも多く行われ、当所にとって大変賑やかな一ヶ月となりました。各イベントの中で生まれた、たくさんの作品達の一部をご紹介します。

第6回夏休み親子森林教室・工作体験での作品（19.8.8（水）、小学生）

千葉森林管理事務所と所の野鳥の森で、毎年夏休み時期に行っている、親子森林教室・工作体験も今年で6回目を迎えました。道具・材料が豊富なことと、時間をかけて工作に取り組めることが、参加者の方々からは好評を頂いているところです。色々な材料を組み合わせながら、個性豊かな作品を作り上げています。



ネコ型鉛筆立て



小枝の鳥の巣と雪だるま



工作前に紙芝居で森林の勉強（子供対象）



ドングリを使った作品



カラフルな頭飾りがかわいいリス



ネームプレートをつけたクマ



なかなかの大作！



こんなにたくさん作った子もいました

千葉市立高洲第一中学校職場体験での作品 (19.8.21 (火) 22 (水)、中学生)

高洲第一中学校2年生の生徒4名に、千葉森林管理事務所の仕事を体験してもらいました。この職場体験は、中学校の進路指導の一環として行われ、実際に職場で働いてみることで、働くことの意義や喜びに触れ、自分の将来を考える契機とすることを目的としています。測量、測樹、下刈等を体験してもらい、木工にも挑戦してもらいました。



測竿 (高さ測定)・輪尺 (幹の直径測定) で測樹



ネコ好きな生徒の作品



モックンとタヌキのキーホルダー



手前は見本（職員作成）、奥が生徒作品



ドングリ足のムカデ



筒森見本林用の樹名板も作成してもらいました

「子ども樹木博士」の中で木工教室を行いました（19.8.11（土）、小学生）

「子ども樹木博士」は千葉県森林インストラクター会等が主催するイベントです。まずは樹木医や森林インストラクターと一緒に、久留里城周辺の森（国有林）を歩きながら樹木の名前と特徴を覚え、君津市森林体験交流センター内の試験会場で、樹木の葉や枝を見て、その名前を当てます。正解数によって「樹木博士」の段級位が認定されます。当所は後援団体として参加し、オプション企画として木工コーナーを設置、試験を終えた子供達に楽しんでもらいました。



森林の中の様子
試験に出題される木



試験会場
葉や枝を見て名前を当てます

木工コーナー見本
一番人気はタヌキ

